

愛隣館研修センターニュース

〒612-8141 京都市伏見区向島二ノ丸町 151 Tel:075-621-3849 Fax:075-621-1579

E-mail:airinday@sunny.ocn.ne.jp http://www.airinkan.net 振替:01020-5-39321

編集発行所:社会福祉法人イエス団 愛隣館研修センター 発行責任者:平田 義

108号

「ばらばらでいっしょ! ~みんな食堂~」

東本願寺の前に「ばらばらでいっしょ~差異(ちがい)を認める世界の発見」という立て看板があります。素敵なお言葉やなあと思うと共に、まさしく向島のまちづくりが目指している社会を表す言葉だと思います。そういう地域をつくりだすために、「愛隣みんな食堂」を企画しています。いろいろな人が集い、出会う素敵なお場所の紹介をさせていただきます。

みんなで話そう! みんなで遊ぼう!
おいでよ、みんな食堂へ

2020年2月8日(土)むかちゅうセンター(元向島中学校)にて「みんな食堂」を開催しました。

「愛隣みんな食堂」は2018年からスタートした愛隣館と京都文教大学マイタウン向島(通称: MJ)で開催されている「MJキッズキッチン」とコラボレーションの活動です。向島ニュータウンの活性化を目指して、今後どのようなまちづくりをすべきか、どのような取組を重点的に行う必要があるのかについて、2017年3月に取りまとめられた「向島ニュータウンまちづくりビジョン」を再確認し、愛隣館として何かできることはないか?と職員が話し合い、「いろいろな人と出える」「大人も子ども一緒に楽しめる」「地域みんなが『同じ釜の飯』を食べられる関係になる」「他国という意味だけでなく、障がいも含めての多文化共生をめざす」等を目的に新たな場の企画をしました。

2014年8月から京都文教大学の先生と民生委員さんがはじめられていた「MJキッズキッチン」と共催することで、「MJキッズキッチン」の取り組みになじんだ子どもたちが新しい企画でも気負うことなく気軽に参加し、いつもよりちょっと多くのいろいろな人と出会う機会にもなっています。当日はお天気にも恵まれ、100人ほどが参加されました。

思い思いの時間にむかちゅうセンターにやってきた子どもたちや地域の方々が、食材を洗ったり切ったりして「芋煮」「おにぎり」「タピオカココナッツミルク」作ったり、外で薪を割ったり、かまどを作ったりして火の準備をします。食材の準備ができたら大鍋に入れて、出来上がるまで、向島地域での様々な活動を紹介するパネルを見たり、校庭で遊んだりして過ごしました。普段は落ち着いた様子のお兄さん達もこの日ばかりは鬼ごっこの鬼になったり、小さな子が

バスケットボールのシュートを入れられるように肩車をしてあげたり・・・と大活躍(大はしゃぎ?)です。



↑調理に熱中です!

地域に暮らす障がい当事者向島二ノ丸学区自主防災会会長の矢吹文敏さんから、2011年3月11日に発生した東日本大震災と故郷の山形の郷土料理「芋煮」についてのお話をお聞きしてから、温かい芋煮とおにぎりをおなか一杯いただきました。



矢吹さんからお話風景↓

午後はゲームの「イトコサガシ」で同じグループの人と自己紹介や「自分が言われたらうれしいほめことば」をお互いにプレゼントして、「パプリカ」の曲に合わせてみんなでダンスをしました。

自分たちで食材を買い足して「焼き芋」「マシュマロチョコフォンデュ」作りにチャレンジしたりする子どもたち、帰り際に「今度のキッズキッチンに来てよ」と声をかけてくれる子もいて、とても頼もしかったです。

「愛隣みんな食堂」はこれからも不定期に活動をしていきます。一緒に新しい出会いや体験をしてみませんか?

(記: 支援センター「あいりん」 福野由記)

「2・11平和について考える日」

明治政府は、紀元前660年の旧暦元日に初代天皇が即位したとし、2月11日を日本の国が建国された日＝「紀元節」として制定しました。その後、1889年2月11日に大日本帝国憲法が公布により、「紀元節」が国民に浸透することとなりました。太平洋戦争では、結果を出す標として利用され続けた2・11。太平洋戦争敗戦後、軍国主義のシンボルであったために廃止されましたが、1967年に「建国記念の日」として復活したのです。

愛隣館では、このような歴史的経緯のある、2月11日を「平和について考える日」と位置づけ、様々な取り組みを行ってきています。

今年は、京都ダルクの太田実男さんにお越しいただき、すべての人が多様性のある生き方を受け入れ合う社会が平和な社会であると、ご自身の体験を交えてお話ししてくださいました。

「2・11平和について考える日」
～太田実男さんのお話を聴いて～

野の百合保育園
藤井幸子

愛隣館ラブ＆ピース委員会は、支援センター「あいりん」・愛隣デイサービスセンター・ホームヘルプ事業「ゆうりん」・重症心身障がい者通所「シサム」・空の鳥幼児園・野の百合保育園の各施設からメンバーが集まり構成されています。今年度は6月より2・11のテーマについて議論を重ねてきました。並行して8月11日の映画上映会参加・お手伝いと協力し、年に4回開かれる元気バザール・にじ色プロジェクトのシネマとトーク、3.11メモリアルキャンドルなど、他の委員会の取り組みにも連携を持ち情報交換をしてきました。

2・11平和について考える日については、皆と何を学ぶか、テーマを選ぶ難しさを感じながらたくさん議論をしました。今回、依存症を学ぶことになったのは、薬物依存について、「まずよく知らない」、「依存症はよくない?」「ダルクはどんなことをしている施設なのか?」など疑問がたくさんあったので、それでは依存症を知ろう、理解を深めようとテーマが決まりました。事前学習で皆と何を学ぶか委員会で話し合いました。その中で、人は誰でも何かに依存しているところがあるのではないかと。依存症とまではならずとも、習慣であったり、ストレス解消法であったりと…。体に悪いと思っても、たばこを吸ったり、アルコールやギャンブルが止められなかったり…など人それぞれ、何かしら思い当たることがあると思います。

依存症は決して他人事じゃないように思いました。事前学習の中でも、それぞれのストレス解消法を聴く中で重なる部分がありました。

2・11平和について考える日、当日は、京都ダルク施設長の太田実男さんに講演していただきました。太田さんは自身の幼いころの躰（しつけ）、お父様の「男らしく」の言葉を胸に留め、違った解釈で“やんちゃ”をしてきた話をされました。中学生のころ、周りの友だちからシンナーを誘われ始めたこと、薬物に手を出した時の精神状態や家族との絆の断絶など薬物に逃げてしまった話などをききました。

太田さんは薬物は「いつでも止められる」と思っていたともいわれていました。でも、何度も再発を繰り返されました。人は弱いと思います。孤独は生きる力、正しい判断力を奪うのではないのでしょうか。

生きる力を失った時、悪魔はささやきます。その言葉は、その人には優しく、手を差し伸べるように聞こえるのではないのでしょうか。人と繋がっている、自分のことを心配してくれる人がいる、そんな人が周りにいたら悪魔のささやきに耳を貸さなかったかもしれません。太田さんは、ダルクの施設と繋がったことで今があるのではないかと思いました。



↑会場の風景

今回、職場の仲間と学びの時間を共有しました。一人の力は弱いかもしれませんが、仲間と一緒にすればそれはまた力となり、次へと続くことになると思います。今回の「依存症を知ろう、理解を深めよう」はまだ始まったばかりです。今後どう深めていくか、引き続きラブ＆ピース委員会で考えていく課題だと思いました。

「つながり」

新型コロナウイルスの影響で、この向島でもいろいろなイベントが中止になっている。東日本大震災の慰霊と復興を願う「3.11メモリアルキャンドル」も延期になった。

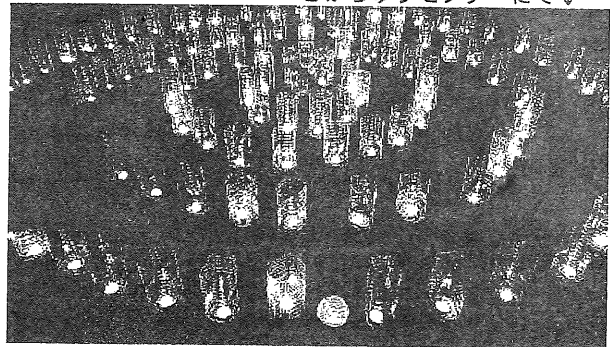
過剰とも思える連日の報道や、国からの突然の全国一斉休校の要請。そして、根拠のない説明や見通しのもてない国の対応に納得できるはずがない。子どもたちの居場所作りに地域で取り組んでいるのに、休校になると子どもたちはどこで過ごしたらよいか、給食がないと一日1食で過ごす可能性のある子どもなど、生活のしづらさを抱えている人たちにしわ寄せがくるのが心配でならない。また、感染された方や関わりのある方・場所などへの差別や偏見も助長されているような気がして、甚だ憤りを感じる。報道で不安を煽られても、妄想にとらわれてはいけないのだ。

さて、話を戻そう。メモリアルキャンドルは延期になったが、3月7日に実行委員などの有志で追悼会を開き、東日本大震災への思いなどを語り合った。3月11日を忘れてはならない、原発事故を風化させてはならないと改めて考えさせられた。そうだ、メモリアルキャンドルは欠かしてはいけないのだ。みんなの意見が一致し、3月11日は有志でキャンドルを灯すことにした。

むかちゅうセンターにて↓

メモリアルキャンドルを7年続けることができたのは、このように地域の人と人とのつながりがあるからだと思う。人のつながりは、力となり、災いにも必ず共に向き合っていける大きな原動力になるはずだ。今、この時期だからこそ、そのつながりの輪をもっともっと広め、誰もが暮らしやすい地域になっていきたいと強く思った。

(支援センター「あいりん」佐藤雅裕)



2019年12月、2020年1-2月行事報告

12/14 デイケア・シサムクリスマス会

12/15 『愛隣』クリスマス会

12/22 元気バザール 協力店舗も増加中!!

次回3/22は残念ながら中止となりました



12/27 デイサービス忘年会

12/28 愛隣館むかちゅうセンターへお引越し

01/12 医療的ケアネットシンポジウム

01/19 シネマとトーク&

向島ヒューマンライブラリー

01/20 2.11平和集會事前合同学習会

02/01 イエス団賀川豊彦献身110周年記念集會

02/08 「みんな食堂」(いも煮&タイのお菓子)

02/9.13.23 喀痰吸引等第3号研修(基礎研修)

02/11 2.11平和集會

02/15 法人京都ブロック 東九条研修

柏木正行さんの

魂に触れる

物と心

大切なのは

物ではなく

心なのです

物は壊れます

買い換えられます

しかし心は買えません

だから私は

金の山よりも

人間の

芥子種程の心を大切にしたいのです

96号再掲

■■■■■■■■ ■ご支援ありがとうございました ■■■■■■■■

今年度も多くの皆様に支えられて活動を続けていくことができました。

今後ともよろしくお願い致します。

感謝を込めてお名前を載せさせていただきます。

愛隣館研修センターを

支えて下さった方々

《月定会員》

荒木啓子、荒田薫、伊吹恒二・寛子、浦由佳里、奥間早登子、大谷優子、金山秋義、君村千代子、木村美由紀、木村耕、北園由希子、菊地義則、櫻恵子、塩谷幸代、仕田中萌子、田中晁・千栄、刀根史恵、中島雅子、中村香代子、西村美枝子、林栄子、福田尚子、松井實・知恵、松野正信・清美、村川知子、安野喜仁・優美、山下亜希子、山崎希充子、藪内みのり、湯川友美、吉田有紀、匿名

《指定献金(夏期特別、クリスマス、年会費)》

郵便振替(個人): 青木理恵子、網野一也、赤阪仁、秋山幸美、池添素②、井口和佳、今村裕子、上野翔太郎、梅田健也②、梅崎浩二、岡本宣雄②、織田雪江②、賀川一枝②、加治木政子、川西大祐、川中大輔、神谷友之・恭子、喜多明子、岸野修三②、北野井一恵②、木村拓貴、姜昊為、木下祥吾、栗原宏介・みな

子、栗原朗、小久保正②、近藤孝子、後藤一志②、五藤薫子、澤田茂雄、齊藤宏子②、坂本和子②、清水元介②、東海林美希子②、鎮目恭輔、菅令子②、杉本星子、高木恵子②、高橋秀幸②、武澤信夫、田中工務店田中勝久、竹内富久恵、高橋恒太、刀根史恵②、富増献児、豊嶋雪子、銅銀正美、中西仁美②、中西静子②、難波幸矢、長尾文雄、中田一夫(みどり野保育園園長)、丹羽克吉②、野島正光・共子②、橋本求、平田哲②、平井徳子、樋高知子、藤田生成②、富士定夫②、藤田早紀、藤田輝之、本田桃子、朴実・清子、松田美枝、間瀬史子・康司、松田めぐみ、松井俊、松原智之・雅子、黛正、三原容子、宮本真希子②、三矢佑悟、三吉奈穂子、村瀬義史②、村岸富美枝、村田稜太(英彰)②、森田和子②、森田裕介、藪中利光・翔太②、家野貞夫、山本恵(株アクティブケイ)、劉梶本雪梅、匿名②

その他寄附金(個人): 青木理恵子、齊賢司②、内山睦雄・啓子、川田よしみ、小中謙吾・福田竜一・宮坂亜矢子、東海林美希子、寺本喜宥②、中垣陽子、

畠田知佳、樋口和哉、平田義、藤田早紀、藤原正人、松野清美、松田美枝、溝口修造・智之②、安野喜仁・優美②、山口洋介②、矢吹文敏、矢吹昭子、横山利明、匿名

郵便振替(団体): 愛之園保育園、岡本教会、軽井沢追分教会、希望ヶ丘教会、京都丸太町教会、啓明学院、神戸教会、夙川東教会、同志社女子高等学校、同志社女子中学校、同志社中学校・高等学校、新島学園中学校・高等学校、西小倉めぐみ教会、西宮一麦教会、原宿教会、枚方くずは教会、光の子保育園PTA、甲子園二葉幼稚園、翠ヶ丘教会、友愛幼児園、洛陽教会、洛南教会

その他寄附金(団体): NAの会、Pink cherubic、伊藤珠算教室、巖建設、新婦人の会、新婦人の会コスモス、空の鳥会、世光教会 (3,104,376円 203口) 2020年3月13日現在敬称略

尚、記入に際しましては万全を期しておりますが万が一記載漏れがありましたらご一報ください。

＜新愛隣館建設のための募金のお願い＞
～インクルーシブ社会の実現を！

2020年4月より、新愛隣館の建築工事が始まります。建築費用は、自己資金と借入金のみで賄う予定です。つきましては、皆さまからのお支えをお願いしたいと思っております。

これまで、多くのお支えをいただいておりますが、重ね重ねのお願いで恐縮ですが、何卒よろしくお願いいたします。

支出	金額	収入	金額
総工費	12億	自己資金	7.2億
		借入金	4.5億
合計	12億	合計	11.7億

*募金目標額：3千万円

＜寄付金振込先＞

銀行名：京都銀行向島支店 普通
口座番号：948391
口座名義：社会福祉法人イエス団
理事長 黒田道郎

* 寄付控除が受けられます。

★編集後記★

▼みなさまからのご意見感想お待ちしています(さ)

▼新型コロナウイルスが猛威を奮っている▽世界各国で感染者数、死者数が急増している▽その現実にもまして、マスコミの過剰な報道により不安感が煽られる▽人が生きていく上で大切なものが失われていっているように思える▽「新型コロナウイルス対策」が成立した▽人を大切にしない今の政権に「緊急事態宣言」を発令する武器を与えてしまった▽権力者の都合で生きづらくさせられることとは勘弁願いたい▽感染症の予防について正しい理解と対応を徹底していくことを基本に▽多様性をある一人一人の生き方こそが大切にされるべき▽重要な点に感

わさねないようになければ(ひ)